



「移住者」

移住者とは、よその土地に移り住む人のこと。我を振り返ると、延岡市に4年、宮崎市に18年、小林市に2年、日南市に5年、宮崎市に11年、そしてまた延岡市に1年目。まとめると宮崎市が29年、宮崎市以外が12年。今までの勤務のうち約3割が宮崎市以外であったことになる。

その間の引っ越しの回数は8回であるので、一般的な勤務者からみたら、かなり恵まれているのかもしれない。



(コスモス 宮崎市有田 2023.10.29)

一方、こんな事例もある。

「地域の慣習を教えてもらえず、『守りごとができない人間』として孤立してしまった。地域に出るのが恐ろしく、引きこもるようになってしまった」

(NHK クローズアップ現代 2023.9.5 より)

移住者トラブルについて扱った番組であった。番組では、移住者の約4人に一人は



(バラ 宮崎市柏原 2023.10.29)

このようなトラブルを抱えていたようだ。

また、「都会から地方へ移住するということは全く違うライフスタイルになりますので、トラブルも大きなトラブルから小さなトラブルまでいっぱいあると思います…」と言っていた。

移住者は、住み慣れた場所から移住したい理由が明確にあるだろう。ところが、実際に移住して、活動を始めると、地域の方との共通した目的があったはずなのに、少しずつズレが生じていく。さらに、移住者とそこに暮らす住民とのズレだけでなく、それを仲介した市町村職員の対応にもズレが露見したようだ。



(かき 宮崎市柏原 2023.10.29)

現在のカトリック第266代教皇フランシスコ氏は、「実在的な意味で、私たちは移住者なのです」と述べています。続けて、

「人間の尊厳には、必然的に『道を行く』という意味が含まれています。…人がもう歩かないと決めたとき、失敗します。人としての召し出しにおいて失敗するのは。歩き、常に道を行くことは、常にコミュニケーションすることです。道を間違えることもあるでしょうし、倒れることもあるでしょう。…とにかく歩くのです。」と言っています。(『キリスト教の核心をよむ』山本芳久)

道を行って歩くことが人間の本質なのです。私たちは、間違えながらも歩き続ける。だから、トラブルは起きて当たり前なのです。その経験が、解決の糸口になります。